

# 「太平山麓九条の会」だより



事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757  
電話連絡先 0282-22-7079(増田)  
Eメール [ohirasanroku9jo@yahoo.co.jp](mailto:ohirasanroku9jo@yahoo.co.jp) HP：太平山麓九条の会で検索

191号  
2023年5月26日発行

## 「日本国憲法施行76年」 憲法守れ！とスタンディング

憲法記念日の5月3日、今年もイオン・カワチ交差点前に25名が集まり、「憲法守り・生かそう！」「戦争国家にするな！」と声をあげました。



### 大谷翔平選手の言葉から

元井茂 記

アメリカメジャーリーグで活躍している大谷翔平選手。WBC 後の記者とのやり取りで語ったことが印象的だ。

大切にしていることは何ですかと問われ、ためらいもなく「何の不安もなくすごせること」と答え、具体的に「寝ること、食べること、動くこと」と実際に日常で行っていることを語った。今やだれもが認めるプレーヤーとなった背景を垣間見た気持ちになった。

この言葉を聞いてすぐに日本国憲法の前文を思い浮かべた。「不安」に私たちが陥るのは心理的に追い詰められる恐怖や食料や物が不足または皆無といった欠乏ではないかと思う。この恐怖と欠乏に見舞われていたら、大谷選手は「寝ること、食べること、動くこと」を十分に行えていなかったのではないか。十分なまでに保証されているからこそ自身の鍛錬も含めてパフォーマンスが発揮できているのだろう。

人々を「不安」にする恐怖や欠乏、その最たるものが戦争ではないか。かつての日本の戦時、世界で起きている戦争や紛争を考えてみても明らかだし、異論を許さないだろう。憲法前文では「恐怖と欠乏から免かれ平和のうちに生存する権利を有することを確認する」と断じている。しかも狭小な自国中心ではなく、「全世界の国民」を主語にしている。全人類の理想を高く掲げているのだ。このようなまれにみる崇高な最高法規が日本にはあるのです。

大谷選手一人が活躍するのではなく、全世界の人たちが「不安」なく「寝ること、食べること、動くこと」ができる世の中にしていきたいと思います。願うは一つ、へいわ、平和。

栃木市倭町に住む長谷川さん宅に掲げてありました「憲法9条世界の宝」です。5月5日の「蚤の市」で散策していて発見しました。(大森)

## 憲法9条世界の宝

太平山麓9条の会

ごあんない

### 平和をうたごえにのせて

### ～みんなで歌いましょう～

とき 8月27日(日) 午後2時～午後4時

ばしょ とちぎ岩下の新生姜ホール(栃木文化会館) 大会議室

ピアノ 田中純子さん 国立音楽大学(ピアノ専攻科)卒業



参加費無料!

# 「沖繩、再び戦争へ(仮)」

三上智恵監督製作

## スピノフ作品(45分) 上映会

7月17日(月・祝日) PM2時～PM4時 (上映後、感想・意見交流)

栃木市市民交流センター(キョクトウ蔵の街楽習館) 1階大交流室

2024年劇場公開にむけて三上智恵監督の新作ドキュメンタリー映画『沖繩、再び戦場へ(仮)』の製作をスタートしました。

その完成に先んじて、三上智恵監督は「刻々と変わっていく、沖繩の予断を許さない状況と危機感を全国の皆さんに今すぐ共有していただきたい」と新作映画のために撮影した映像の一部から45分ほどのスピノフ作品を製作しました。今回、「太平山麓九条の会」も構成団体である「とちぎ市民ネット」が主催し上映会を開催します。ぜひお運びください。



### 試写会(5月16日)での感想から...

「歴史的な屈辱です」と語られた場面が一番印象に残った。沖繩の歴史の上に、現実の沖繩の状況が報道されていない実態。そこに、本土と言われる地に生きる我々が傷みを感じる事が少なすぎる。

宮古島では、もう戦争が始まっている。日本ではすでに戦争が始められていると肌で感じた。

憲法を無視して攻撃体制が作られている。米軍が東シナ海で中国と交戦になれば同時に戦争状態になる。

与那国島に住んでいる人が自衛隊配備に反対していたが、分断され挫折感を感じている状況でも反対しなければと思っていることが最も印象に残っている。

沖繩は今まで何年も基地に反対している。そんな国民(島民)の声を国はずーと無視している。そんな状況がよくわかる場面だから。

◇スタンディング 6月9日(金)市役所前 19日(月)イオン・カワチ前 午後4時～  
◆スタッフ会議 6月8日(木)・23日(金) 13時半～交流センター楽習館くらら2階

